



JTMとくしま日本語ネットワークがアンケート結果をまとめた冊子

日本人とうまく付き合えない

支援団体が調査

県内外国人

滞在長いほど苦悩

外国人の日本語学習を支援している「JTMとくしま日本語ネットワーク」が、徳島県内の外国人を対象にしたアンケート結果をまとめたところ、日本に来て間もない人より三年以上たった人が生活に悩み、日本人とうまく付き合えないと感じていることが分かった。

環境の違い浮き彫り

アンケートは昨年十月から今年一月末まで実施。二百九十六人から回答を得た。国籍は、中国が最多で71・3%。来日目的は研修が37・2%、次いで就労20・8%。滞在期間は一―三年が45・9%、一年未満33・1%だった。

「生活で困っている」とや相談したいことはあるか」との問いには、「ある」が百二十八人、「ない」が百二十九人、ほぼ同数だった。

「生活で困っている」とや相談したいことはあるか」との問いには、「ある」が百二十八人、「ない」が百二十九人、ほぼ同数だった。これを滞在期間別にみると、悩みのない人の割合が、滞在期間六カ月未満は68%、六カ月―一年43・5%、一―三年47・6%と高いのに対し、三―五年31%、五年以上32%と低く、三年以上たっ

2006年(平成18年)7月23日 日曜日

外国人の日本語学習を支援しているJTMとくしま日本語ネットワークが二十九日、徳島市内の県国際交流プラザで、県内在住外国人の抱える悩みや問題について話し合う交流会「ざっくばらん 私にも言わせて」を開く。同ネットワークは参加希望者を募っている。

外国人の悩みに耳傾けて

JTMとくしま日本語ネットワーク 29日、徳島市で交流会
アンケート結果によると、日国人によるスピーチの後、日本に来て間もない人よりも、三年以上たった人の方が生活に悩み、日本人とうまく付き合えないと感じるようになる傾向がうかがえた。

このため、在住歴三年以上の外国人を招き、気軽に意見を交換し合うことで問題解決につなげようと企画した。外は二十四日。

088(625)8387、

ファクス088(625)5

113、電子メールjtm@nifty.com

を交換し合うことで問題解決につなげようと企画した。外は二十四日。

十分理解できず、職場で困った」との感想がある一方で「外国人のサポート担当者がいるので困らない。幸運だと思う」という意見もあり、環境の違いで生活が左右されていることが浮き彫りになった。

同会は結果をまとめた冊子(A4判、八二頁)を五百部作製。県内市町村など関係機関に送付し、外国人施策の参考にしよう。同会の兼松文子会長は「外国人が抱える問題を解決しようとするのは、自分たちの社会の問題と向き合い、よりよくすること。共生できるように知恵を出し合いたい」と話している。